

古事類苑

天部三

雨

雨ハ、アメト云フ、小雨コサン霖シノ大雨オホサン暴雨ハルサン等ノ稱アリ、又降雨ノ時節ニ依リ、春雨ハルサン卯花ウミクタクタシサミ、五月サミ雨ダレ、時雨シク等ノ名アリ、而シテ神佛ニ祈雨、祈霽スル事ハ、神祇部、祈禳篇ニ載セタリ、

名稱

〔新撰字鏡〕雨 實隕也、阿女不利於豆、〔同水〕瀑ハル阿女佐加利爾布留、又阿良支水、

〔倭名類聚抄〕雨 說文云、水從雲中而下也、音禹和名、

〔段注說文解字〕雨十一下 雨水從雨下也、而引申之、凡自上而下者稱雨、一象天、口象雲、水歸其間也、斗者水字也、凡雨

之屬皆从雨

〔釋名〕釋天 雨羽也、如鳥羽動則散也、

〔類聚名義抄〕雨七音 禹音禹、和音和、霽音正、蒙音蒙、音雨、

〔日本釋名〕天象 雨 天よりふる故に、天のことばをかり用ゆ、

〔八雲御抄〕天象 雨 春さめ 小雨 むらさめ ながめ 玄はくり ゆふだち こし雨略 ○中

よこさめ源氏曰、野 さみだれ 五月 うの花くたし四五のはなくたしとよめり、みをしるあめ

涙也 玄ぐれ 夕 むら はつ あまのしぐれ、又かきくらしとよめり、古歌におつる玄ぐれ

とよめり、たつみとは、雨のふりたるおりのみづなり、にはたづみなどいふ、頼政よこ時雨

とよみて俊成に被難、光忠があきさめなどいへるたぐひは、おかしき事なり、玄つくしくる名雨